

二〇一八年

日時 十一月三日（土）

午前八時三十分（高山別院報恩講お朝事後）

会場 高山別院本堂

き ききょうしき

帰敬式のご案内

（おかみそり）

人身受け難し、今すでに受く。
仏法聞き難し、今すでに聞く。
この身今生において度せずんば、さらにいずれの生においてか
この身を度せん。
大衆もろともに、至心に三宝に帰依し奉るべし。

『三帰依文』より

明年の飛驒御坊御遠忌七五〇をご縁として、
多くの方々に帰敬式をお受けいただきたく、
別院報恩講で執り行われます帰敬式のご案内を申し上げます。



<帰敬式>

日 時 2018年11月3日(土) 午前8時30分説明開始(受付は午前8時から)
会 場 高山別院 本堂
お 礼 金 13,000円 (20歳以下は6,000円)
持 物 念珠
服 装 特に決まりはありませんが、華美にならない落ち着いた
服装でお願いします。
締 切 10月10日(水)

※お手次のお寺へ、お礼金を添えてお申し込みください。

※帰敬式終了後、別院報恩講が勤まりますので、ぜひご参詣ください。

事前研修 帰敬式を申し込まれた方は、ご出席ください。

日 時 1回目 10月17日(水) 午後7時
2回目 10月19日(金) 午後1時30分～

※どちらかの可能な日にご出席ください。

会 場 高山別院
講 師 高山別院輪番 三島多聞
持 物 念珠、勤行本、筆記具

※ 帰敬式は、明年5月の御遠忌法要においても執り行われます。

帰敬式とは

「帰敬式」は、一般に「おかみそり」という名前で親しまれてきた儀式です。

おかみそりを受けて法名をいただくのは、亡くなってからでいいと思われがちですが、本来帰敬式は、お釈迦さまの弟子になる、仏弟子になるという儀式なのです。ですから亡くなってから法名をいただくのではなく、生きている今だからこそ人間としての生き方、あり方を問い、学んでいき、仏・法・僧の三宝に帰依し、南無阿弥陀仏を本尊として生きる人生の大切さを明らかにしていこうという出発の式が帰敬式です。

三宝とは

仏…南無阿弥陀仏の法に目覚めた人「お釈迦さま・諸仏」

法…南無阿弥陀仏の法。阿弥陀如来の本願。

僧…南無阿弥陀仏によって生きるひとびとの「あつまり」

法名とは

私たちは、日ごろ両親からの願いがかけられた名前で生活していますが、帰敬式を受けると「釋」の字が冠せられた二字の法名が授与されます。「釋」は、お釈迦さま・諸仏の弟子となった、仏弟子としての名のりをいいます。つまり、南無阿弥陀仏の法を明らかにされたお釈迦さまの教えに生きるものとなるという、第二の誕生を意味する名のりです。



本山からの記念品

<お問い合わせ>

真宗大谷派 高山別院 〒506-0857 高山市鉄砲町6番地 TEL0577-32-0688 Fax0577-32-9552